



両親の技術を受け継ぎ 品質の良い野菜づくりを目指して

野菜経営 北野町 松隈 省吾 さん (24歳)

農業の魅力に気付いて

高校卒業後、専門学校に進学し、調理士を目指していた松隈省吾さん。卒業後、就職活動をしながら、家の農業を手伝ううちに、農業に魅力を感じ、後継者として就農することを決意しました。

地域での連携を大切に

省吾さんは、両親とともにパート従業員を雇用しながら約130アールのハウスでニラと春菊を栽培しており、主に栽培管理や収穫などの作業を担当しています。

ニラは周年で栽培しており、苗の定植などの人手のいる作業はJAみいニラ部会の仲間と協力して行います。また、栽培方法などの情報交換を行い、生産技術を高めています。

ニラは1つの株で4〜5回収穫することができ、部会では、初めに収穫するものを「健康ニラ」、2回目以降に収穫するものを「長寿ニラ」として出荷しています。

省吾さんは北野町4日クラブにも所属し、他の若手農業者と共に、技術向上や農業経営についての情報交換、保育所や幼稚園での米作り体験指導などに取り組んでいます。「子どもたちが楽しそうに農業に触れる姿が印象に残っています。」と語ってくれました。

将来の経営者として

省吾さんは「取引先から野菜の品質が良いと褒められると、農業をやって良かったと感じる。」と話します。「作業内容や栽培方法を早く覚えて、経営を受け継ぐ為の土台を作り、将来、より品質の良い野菜を作る農業経営者になる。」という、強い意志を持っています。

